

河北潟干拓地の21創造運動と地域保全への取組

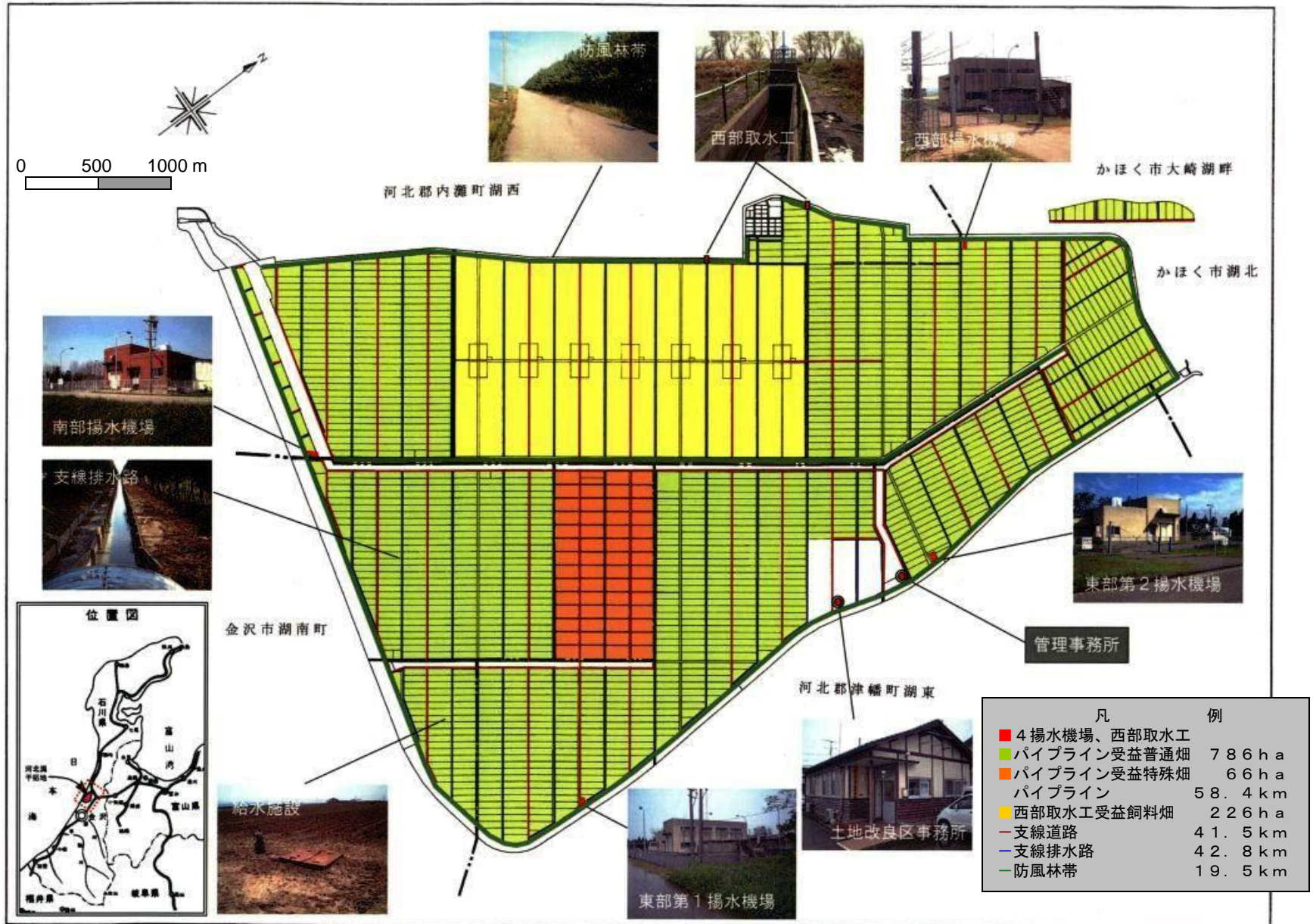
ラグーン・ランド
～Lagoon Land～ 「緑の大地」の創造



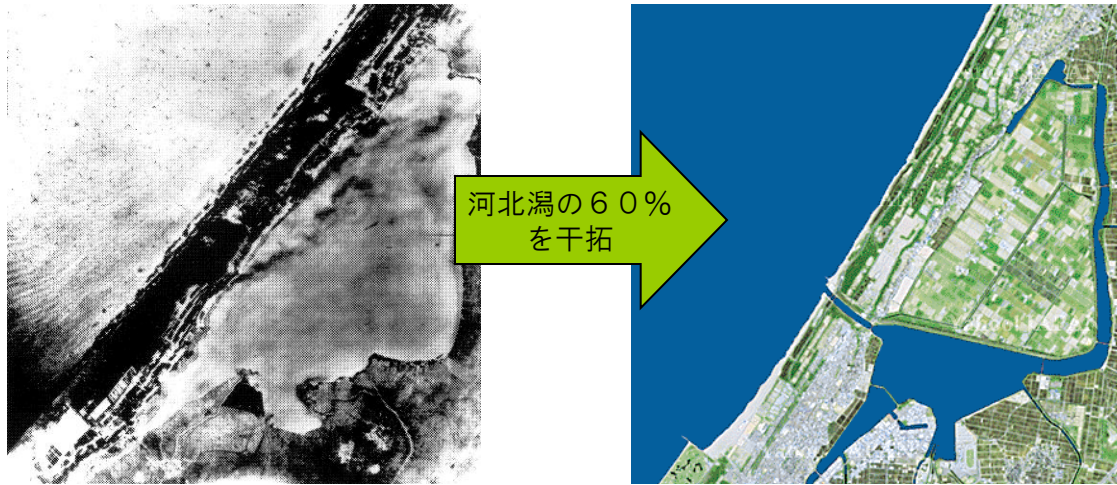
かほくがた みどり

石川県河北潟水土里ネットかんたく

1. 河北潟干拓地の位置と主な施設



2. 新たな大地の誕生 ～国営河北潟干拓建設事業の概要～



東京ドームとの比較

河北潟 ドーム	2, 248 ha	480個
干拓面積 ドーム	1, 356 ha	290個
残存水域 ドーム	892 ha	190個

①食糧増産のための水田の拡大と周辺の排水改良を目的に、昭和38年国営河北潟干拓建設事業が着工。

↓

②昭和40年代に米余りが顕在化し、昭和45年開田抑制通達が出され、昭和52年に水田から畑、酪農に変更。

↓

③昭和54年から畜産団地整備が農用地開発公団営事業により着手。

↓

④20有余年の歳月をかけ、昭和61年に国営干拓事業、公団営事業が完了。

国営干拓総事業費 280億円

干陸面積 1, 356 ha 〔内訳〕 普通畑 786 ha 特殊畑 66 ha 飼料畑 226 ha

施設用地 47 ha 堤防等 231 ha

〔市町別内訳〕 金沢市 282 ha かほく市 216 ha

津幡町 373 ha 内灘町 485 ha

受益面積 1, 126 ha 組合員数 296名 (H22. 3現在)

3. 21 創造運動 ～背景と理念～

背景

広大な都市近郊農地
畑作&酪農

厳しい農業経営!
高齢化・後継者不足
農産物価格の低下

保全意識・体制
の脆弱化

300名弱の組合員
地域住民がいない

理念

理事会

- 豊かな自然環境
- 周辺へのアクセス機能
- 都市住民の余暇時間の増加
- 干拓地農業の振興と地域との連携...



**農業・農村の
多面的機能の推進!**

スローガン

親しみの持てる『緑の大地の創造』

構想

緑の大地推進活動

- 農業空間・地域共有財産としての保全
- 安心・安全な食糧生産基地としての推進
- 都心住民との交流促進、PR活動の推進

地域コミュニティ活動

- 周辺地域と連携した環境維持保全
- 学校教育との連携
- 各種活動の場としての提供

周辺住民、NPO、ボランティア団体等
との協力・連携

4. 活動状況 ～緑の大地推進活動～

河北潟干拓地をテーマ、題材
(中心)とした活動

農業空間・
地域共有財産
としての保全

- 農地防風林帯の環境保全 (H12～)
- 除草抑制策の試行 (H15～)
- 干拓地防災体制の構築試行 (H18～)
- 主要道路の愛称看板の設置とフラワーロード整備の促進 (H18～)

安心・安全な
食糧生産基地
としての推進

- 農作物の鳥獣食害被害防止等の推進 (H12～)
- 良質営農用水の確保策の推進 (H12～)
- 冬期の除雪対策の整備 (H14～)
- 資源循環農業の推進 (H9～)

都市住民との交流
PR活動

- 「ふれあい河北潟農業まつり&もうもうフェスタ」の開催 (H2～)
- 河北潟干拓地「月の市」の開催 (H7～)
- 河北潟干拓地「ひまわり村」の設置 (H7～)
- ホームページの開設 (H15～)
- パンフレットの配布 (H15～)

4. 活動状況 ～緑の大地推進活動～

農業空間・
地域共有財産
としての保全

●農地防風林帯の環境保全



周辺住民、ボランティア団体等
の参加による一斉除草

●雑草抑制策の試行



綿羊を利用した除草

河北潟の水位を併記
排水施設の重要性をアピール



●愛称看板の設置 廃瓦チップ材による雑草抑制

4. 活動状況 ～緑の大地推進活動～

安心・安全な
食糧生産基地
としての推進



4. 活動状況 ～緑の大地推進活動～

都市住民との交流
PR活動

●河北潟ふれあいフェスタの開催



にぎわう産直販売

●河北潟干拓地『ひまわり村』の設置



ひまわり村開村式の園児遊園



●ホームページの開設 パンフレットの配布



5. 活動状況 ～地域コミュニティ活動～

河北潟干拓地を活用の一環
(場の提供) としての活動

- 農地防風林帯の景観木補植の推進 (H16～)
- 干拓地美化活動の推進 (H7～)
- クリーン・ウォークの実施 (H18～)

周辺地域と
連携した
環境維持保全

学校教育との連携

- 小中学校総合学習連携推進 (H15～)
 - 出前講座
 - 生き物調査
 - 一斉水質調査
 - ものづくり体験教室
 - 施設見学会
 - 農業体験・収穫体験
- 園児への水路等危険啓発活動 (H7～)
- 消費者交流活動 (H16～)

各種活動の場
としての提供

- 干拓地利用イベント導入の推進
- 観光コース組み入れ試行の発信構想

5. 活動状況 ～地域コミュニティ活動～

周辺地域と
連携した
環境維持保全



●農地防風林帯の景観木補植の推進

周辺住民・ボランティア団体等
参加による景観木の補植



●環境美化活動の推進

周辺住民・ボランティア団体等
参加による干拓地一斉清掃



健康増進+美化活動の
クリーン・ウォーク

●クリーン・ウォークの実施

5. 活動状況 ～地域コミュニティ活動～

学校教育との連携

●小中学校総合学習連携推進



自然素材(雑草)を生かした
ものづくり体験教室



職場体験の受け入れ(ぶどう園の管理作業)



周辺住民・小学生等参加
による流域一斉水質パックテスト

5. 活動状況 ～地域コミュニティ活動～

各種活動の場
としての提供

●各種活動の場としての提供



サイクルロードレースの開催



一周駅伝の開催

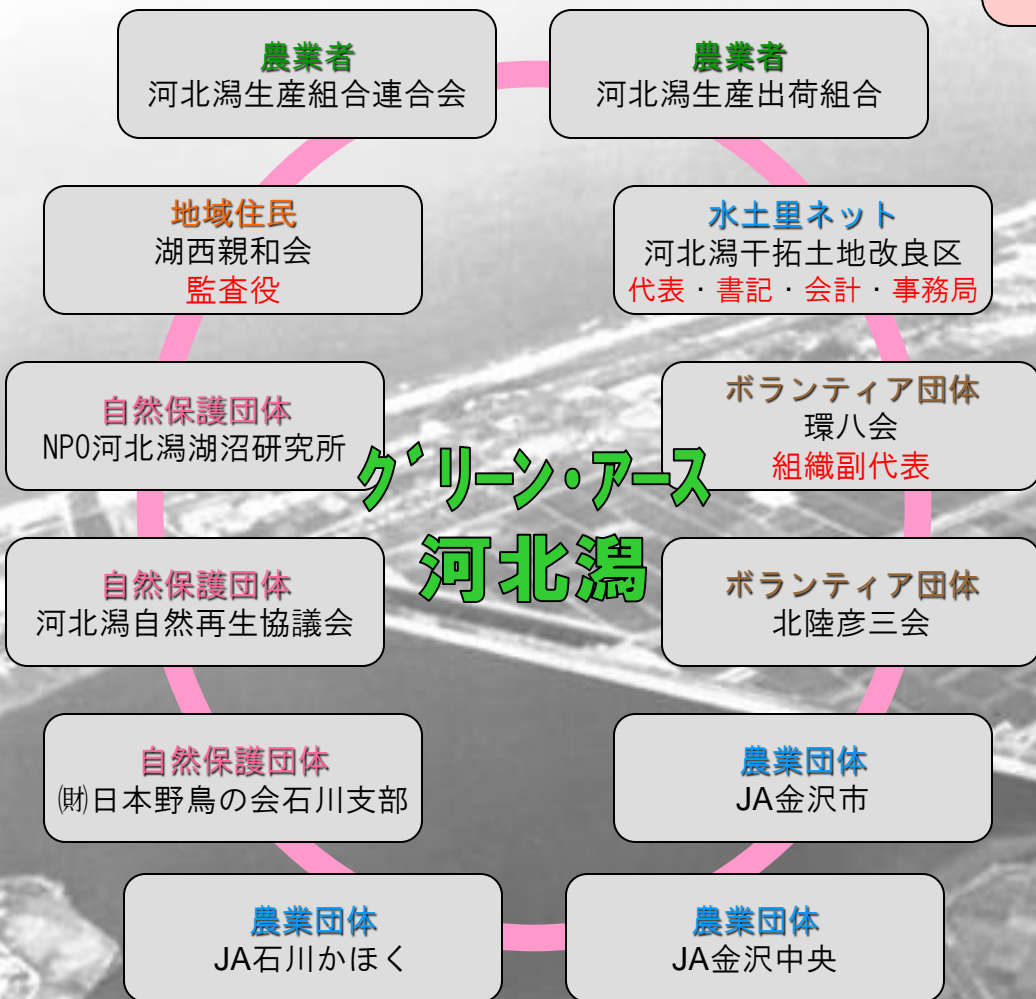
●農業観光地
としての発信計画



全国からの問い合わせ・集客があるひまわり村

6. 農地・水・環境保全向上対策の取り組み

(1) 活動組織〔12団体〕



協定 対象 資源

農地	1,020ha	パイプライン	58.4km
開水路(支排)	42.8km	開水路(集水渠)	15.6km
農道(AS舗装)	41.5km	農道(敷砂利)	16.4km
防風林帯	23.2km		

得意分野ごとの役割分担による組織参画への対応

基礎部分・誘導部分（農地・水向上活動）の中心的役割を担う農家への対応
 →地区別説明会を実施し、事業内容、作業内容の説明、周知徹底を図った。
 全農家へ作業管理日誌を発送。

誘導部分（農村環境向上活動）の中心的役割を担う参画諸団体への対応
 →その団体の定期の会議の場を借り、事業内容、活動内容の説明を行い、意思疎通を図った。

19. 4. 16 活動組織総会



6. 農地・水・環境保全向上対策の取り組み

(2) 基礎部分、農地・水向上活動

〔周知徹底〕 地区別説明会等

干拓版作業管理日誌の作成



23地区に分け、責任者(地区リーダー)を決め、共同作業日を決定し、各地区ごとに作業を実施

パイプラインの点検・診断



〔実践〕



集合時〔機能診断指示等〕

開水路の点検・診断



開水路の除草



開水路の泥上げ



農道の砂利補充



酪農団地牛放牧による除草



不耕作地の除草



パイプラインの自動弁補修



6. 農地・水・環境保全向上対策の取り組み

(3) 農村環境向上活動

〔計画策定〕実施打合せ



NPO、自然保護団体等

活動項目の内容

- 4つのテーマについて実践
- 〔基本〕干拓地既存活動
- 参画諸団体既存活動
- 1. 年度計画の策定
- 2. 実践前の打合せ

営農活動の取り組み

- 3品目
- 水稻(加工用米) 108ha
- 小松菜(施設園芸) 16.7ha
- トマト(施設園芸) 0.5ha

生態系保全



排水路の生き物調査



生態系など出前授業

水質保全



浸透水の調査(県立大)



木工沈床による浄化調査
(石川高専)

景観形成・
生活環境保全



スポットガーデンの花植え



景観木の補植

資源循環



県産間伐材の利用



刈草の堆肥化試験

7. 成果と今後の展望

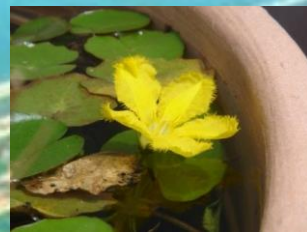
成果

- 多面的機能の啓発普及
- 都市住民との交流促進
- 農村環境・地域と連携した景観の推進
- 連携と協力→各団体定例会への参加
- マスコミの利活用
- 水土里ネットの必要性

展望

既存組織との連携と運動組織の設立





~Lagoon Land~

親しみの持てる
『緑の大地の創造』

